

AVL-200 VANCロガー

概要

本装置は、ARIB TR-B23で規定されている、放送局間の情報伝送に使用する補助データパケット(映像信号の垂直補助データ領域)の2ラインを、リアルタイムでそのままキャプチャし、ロギングをする装置です。局間信号送りや受けのデータを保存することで、障害解析を支援します。

特長

- 垂直補助データ領域(VANC)2ラインのYデータ系列全てをキャプチャします。
- 指定された保存期間でログファイルは上書きされます。
- ログデータは秒単位でバイナリファイル保存されます。
- ログファイルから必要なパケットのみを抽出する機能があります。
- 抽出パケットはCSVファイル保存できます。

構成

VIDEO CARD

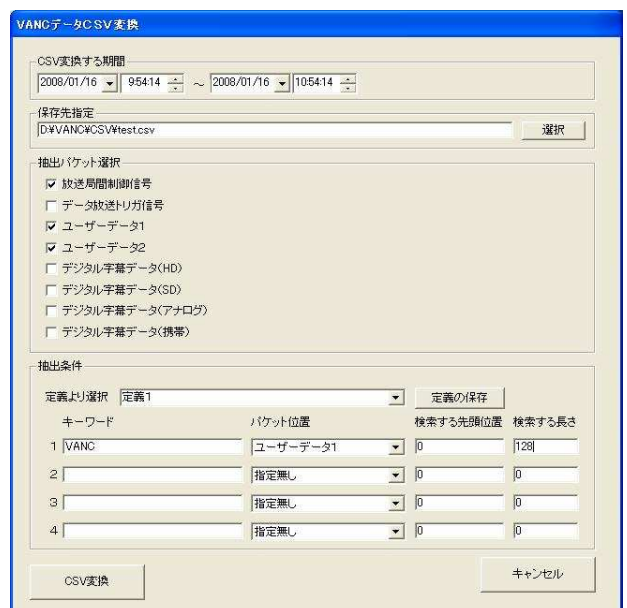
ハードウェアにて、オンボード上のフレームメモリにログデータのバッファリングを行うので、ソフトウェアの負荷を低減することができ、データを取りこぼすことはありません。

制御端末PC

制御端末PCは、VIDEO CARDを挿入した制御端末PCです。VANCロガーの膨大なロガーデータを保存します。VANCデータのキャプチャと、ログデータの保存をおこないます。

VANCロガーソフト(VancLogger)

VIDEO CARD上のログデータが書き込まれたフレームメモリをリードし、1秒単位でファイル化します。パケット抽出機能があり、期間、パケット名等を指定して、必要なパケット情報のみをCSV形式ファイルに変換して出力する機能があります。



ロガーソフト(CSV変換操作画面)

